

福島第一原子力発電所 1号機 原子炉建屋3階機器ハッチ開口部バルーンの ずれについて

2015年5月22日
東京電力株式会社

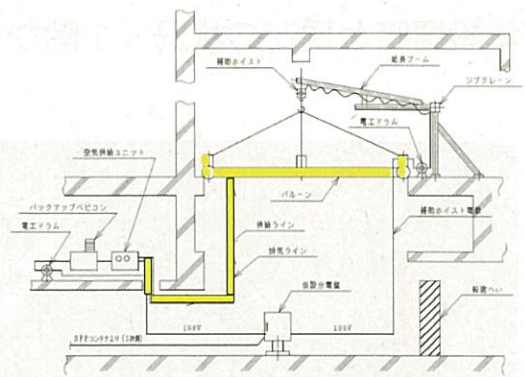
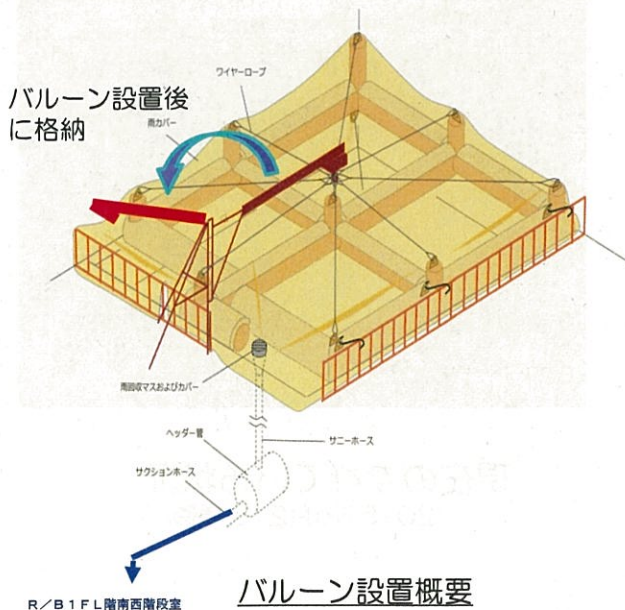


0

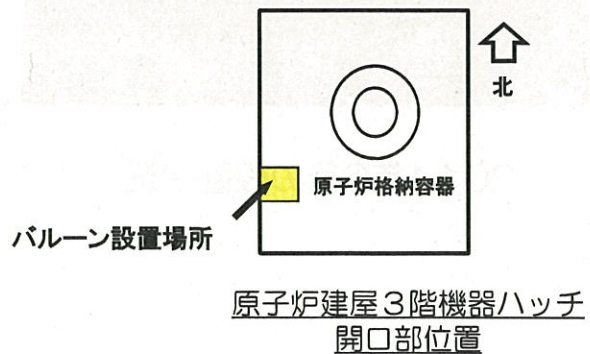
設置目的

バルーンの設置目的

1号原子炉建屋カバー解体に伴う放射性物質放出抑制対策として設置。開口面積を小さくすることで放射性物質の放出量を抑える（少なくする）ことを目的としている。



バルーン設置イメージ図



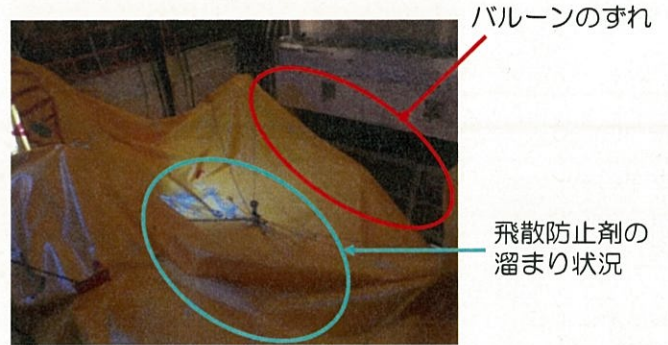
概要

原子炉建屋3階機器ハッチ開口部に設置（2014年6月）したバルーンについて、作業員が当該建屋1階開口部下部より見上げたところ、南側に開口があるように見えるとの連絡を受け（2015年5月21日）、当社監理員が監視用に設置したカメラで確認したところ、バルーンが所定の位置に設置されていないことを確認した。

その後、ただちに現場に出向し確認したところ、南側の一部がずれていることを確認した。



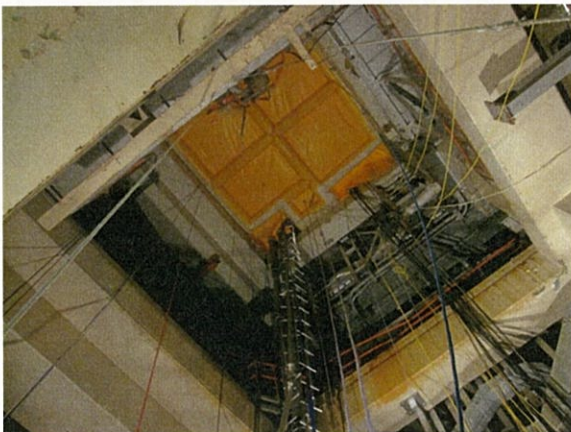
2014年6月の設置状況



現在のずれている状況
(2015年5月21日撮影)

(参考) バルーン下部状況

昨年設置時と現在の状況（1階から撮影）



2014年6月の設置状況



現在のずれている状況
(2015年5月21日撮影)

以上